

明海大学不動産学部

# 不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第197回

## 【学生の目】

塀は最も外側にあつて内部を守る点で、「住宅の鎧」である。また、内部と外部が共生するための工夫には伝統が生きている(染谷洋樹「不動産の不思議第13回」13年12月17日号)。

塀の役割はまず、所有や利用の境界を示して区画することである。次に、目隠しとして内部のプライバシーを守ることである。さらに、格式や威厳を示す役割を担うこともある。

これまで塀は門と一体的に造ることが多かったが、最近の都市部の新



武田 亜輝士  
不動産学部3年

## ガラスの塀

# 雰囲気を上品にする効果も

住宅の塀には、生け垣のほか、木や竹などの自然材料、アルミや鉄など金属材料を用いるものがある。そんな中、ガラスを用いて塀の役割を上品に表現している住宅にインパクトを受けた(写真)。

その理由は、第一に建物外壁面の大きな窓やペランダの手すりと呼応した、ガラスの多彩な表現が目を引き留める。外構と建物が一体化して、

築住宅では門を設けるほどの広い敷地が少なく、塀だけの家も多く見受けられる。さらに塀も設けないオープン外構の住宅も増えている(高橋「不動産の不思議第32回」14年5月6日号)。格式や威厳を示す点では門の方がより重要で、「門構え」で住宅が判断されてきたが、最近では「塀構え」や「庭構え」が住宅のイメージを演出するようになってい

る。第三に第二のメリットの副次効果として、例えば空巣狙いなどの犯行が通行人から見えるために犯罪が抑制でき、明るく防犯に優れた街が実現できる。第四に経年劣化に強く、時間が経過しても新築時と同じ外観と性を

度や耐火性が高いものはコストが高い、などがあるものの、内と外を適度に区分し、適度に繋げるガラスの塀は、街の雰囲気

## 【教員のコメント】

大規模建築物のカーテンウォールが代表するように、建築材料としてガラスの重要性が増している。構造解析が進み大きな金属製の方立なしに広いガラス面が造れることも大きい。デザインの自由度が高く、住宅まわりで利用する可能性が高まる。



ガラスを塀のように活用して巡らせている住宅。上品な雰囲気も漂う